

食品などの放射能測定結果をお知らせします

本市では、平成23年12月から、市民の皆さんが生産・採集した自家用農林産物などの放射能測定検査を実施しています。

●対象 自家用の農林産物など

※販売目的のものの検査は農林課で受け付けています。

市では今後も引き続き、食品などの放射能測定を行います。

●検査を希望される方 測定は無料ですが、事前予約が必要です。あらかじめ放射能対策室までご連絡ください。※測定には事前処理が必要です。詳しくはお問い合わせください。

平成25年4月から平成26年3月までの検査件数 (単位: 件)

品目 (品目数)	検査総数	不検出	基準値内	基準値超 (品目数)
米 (4)	30	27	3	—
野菜 (34)	91	79	12	—
果物 (13)	51	24	25	2 (2)
キノコ (12)	19	2	11	6 (4)
山菜 (6)	119	17	86	16 (5)
魚 (3)	7	—	7	—
肉 (1)	5	—	5	—
水 (1)	28	28	—	—
その他 (14)	12	10	1	1 (1)
計 (88)	362	187	150	25 (12)

参考: 放射性セシウムの基準値 (Bq/kg)

飲料水10、牛乳50、一般食品100、乳幼児食品50

※食品衛生法に基づく基準 (平成24年4月1日施行)



▲放射能対策室での検査状況

Monthly Consultation

定例相談

相談種別	日時	会場	電話
人権擁護 行政 無料法律	7月16日(水)	市役所4階 大会議室	生活環境課 ☎22-1314
農家	7月10日(木)	市役所3階 第3会議室	農業委員会 ☎22-1256
農家	7月10日(木)	農林振興センター	農業委員会 ☎22-1256
こころの相談 もの忘れ相談	7月2日(水)	健康センター(要予約)	健康推進課 ☎22-1362
障害者	7月9日(水)・23日(水)	市役所3階 第3会議室	福祉事務所 ☎22-1400
補聴器巡回 サービス	・リオン: 7月8日(火)・22日(火) ・ブルーム(旧ワイドックス): 7月29日(火)	市役所1階 東側和室	福祉事務所 ☎22-1400

※平成26年8月のこころの相談・もの忘れ相談は25ページに掲載しています。

相談種別	日時・会場・問い合わせ先など
いじめ相談 (アライン)	いじめ問題等対策室(市役所4階 教育委員会内) i-line@city.shiroishi.miyagi.jp【24時間メール受け付け】 ※電話相談(☎22-1350)も実施しています(毎週月～金 8:30～16:30)。
家庭児童相談	総合福祉センター 毎週月～金 8:30～16:00 ☎22-1400
高齢者総合相談 (事前連絡必要)	①地域包括支援センター(総合福祉センター内): ☎22-1466 ②在宅介護支援センター茶園: ☎25-9955 ③在宅介護支援センター八宮: ☎24-5222 毎週月～金 8:30～17:15
青少年相談	青少年相談センター(市役所4階) 毎週月・火・木・金 8:30～16:30 ☎22-1342(内線445)
消費生活相談	消費生活相談室 毎週月・水・金 9:00～16:00 ☎22-0783 ※平成26年6月2日(月)から、市役所1階生活環境課内に移転しました。
DV・セクハラ相談 (事前連絡必要)	男女共同参画相談支援センター(ふれあいプラザ内) 毎週月・水・金 9:00～17:00 ☎22-6035 ※電話相談も実施しています。
障がい者虐待通報	仙南地域障がい者基幹相談支援センター【24時間電話受け付け】 平日: ☎0224-51-5361 夜間・休日: ☎080-3326-1788 ※県南生活サポートセンターアサンテ内(大河原町)。平日は福祉事務所(☎22-1400)でも受け付けています。

みやぎ・しろいしフィルムコミッション主催 1日映画館「しろいし座」
「波伝谷に生きる人びと」宮城県沿岸部縦断上映 壮行記念特別上映会開催

入場
無料



我妻和樹 監督作品 映画「波伝谷に生きる人びと」

日時: 7月21日(祝) 開場 13:00 上映 13:30 (134分)

会場: 中央公民館 定員: 200人 ※上映終了後、監督の舞台挨拶あり

みやぎ・しろいしフィルムコミッション ☎0224-22-1321 <http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/section/shoukan/film/>

PROFILE

1985年白石市生まれ。東北学院大学文学部史学科に在学中、民俗調査で南三陸町の波伝谷と出会い、2008年3月の卒業と同時に映画製作を開始。約6年の歳月を経て完成し、2013年10月の山形国際ドキュメンタリー映画祭で初公開となる。現在はピーストゥリー・プロダクツとして上映会を主宰。作品は夏に宮城県沿岸部計11カ所での縦断上映を予定している。

●「波伝谷に生きる人びと」フェイスブック <https://www.facebook.com/hadenyaniikiruhitobito>

我妻和樹監督

2014年3月6日夜、みやぎ・しろいしフィルムコミッション(F.C)主催の1日映画館「しろいし座」(情報センターアテネ)で上映され、立ち見も出るほど盛況だったドキュメンタリー映画「波伝谷に生きる人びと」。南三陸町の小さな漁村「波伝谷」を舞台に、震災前の漁業者たちの生き様や地域の結びつきを描いたものです。

前回の上映会では、観賞した人たちが「作品に出てきた『結』という助け合いが白石にもあり、大切にしなければいけない」「今はもう無くなってしまった自分たちの部落のことを思い出した」と感想を話し、波伝谷の姿に自分の故郷を重ねていました。

この映画を作った我妻和樹監督は「震災3年を機に、かつての自分たちの生き方や故郷のあり方を見つめなおし、新たな地域社会を創り出すための一助になれば」と考え、この夏、津波被害にあった山元町から気仙沼市までの計11カ所で行う「宮城県沿岸部縦断上映会」を企画。そこでF.Cと我妻監督が再びタッグを組み、地元白石市で縦断上映に先駆けた壮行記念特別上映会を開催することになりました。

震災前の南三陸に、当たり前に流れていた時間や人びとの息づかいなど、我妻監督独自の目線で何気ない日常を魅力たっぷりに描いた本作。前回見逃した方は、ぜひこの機会に中央公民館まで足を運びてください。